

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-39 □支援部門		老人保健事業				
主管課	市民健康課	関連課	高齢者いきいき課				
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	65歳以上の高齢者がいきいきと生活できるよう健康増進を図る。						
人口等の データ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備考		
	人口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯			
事業の対象者数	24,486人						
運営資源 状況	決算値(千円)	66,521千円	67,624千円	134,436千円			
	(国・県)	1,333千円	1,509千円	2,343千円			
	(負担金等)	47,478千円	22,661千円	21,948千円			
	(一般財源)	17,710千円	43,454千円	110,145千円			
	人員配置数	5.1人	4.1人	4.1人			
	人件費(千円)	44,855千円	38,029千円	38,398千円			
	協働の パートナー	無	無	無			
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	111,376千円	105,653千円	172,834千円			
	市民1人当 りの経費(円)	629円	598円	979円			
	対象者1人 当りの経費(円)	4,549円	-	-			
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
機能訓練教室参加の指導延べ人数	目標値		定数の100%	定数の100%	定数の100%	定数の100%	定数の100%
	実績値	△	668人(65.4%)	616人(58.6%)			

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。
小事業名	H22決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性 A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止
老人保健事業	66,521千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要	・健康教育(健康づくり、介護予防など)、健康相談(栄養、介護予防、介護家族など)を実施する。 ・脳卒中後遺症等の方(40歳以上)の社会参加を目指し、日常生活や基本動作の訓練等を実施する。 ・75歳以上の後期高齢者健診を実施する。		
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要			

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)	
H22年度の課題	・機能訓練教室や個別相談の潜在的な新規参加者の開拓が充分できていない。 ・元気な高齢者の健康維持目的の事業メニューが充分でない。
課題解決のための取組	・機能訓練教室の周知の機会を増やすために、広報・衛生時報に記事を掲載する、市内医療機関や関係機関事業紹介する、健康づくり講座などの会場でリーフレットを設置するなどの取組みを実施した。 ・機能訓練教室参加者に対し、教室開始時から終了後の自主活動の意識づけを行った。 ・元気な高齢者が健康維持・介護予防を実践できるように介護予防事業と連動した講座を実施した。
未解決の課題	・機能訓練教室や個別相談の潜在的な新規参加者の開拓が充分できていない。 ・元気な高齢者の健康維持目的の事業メニューが充分でない。今後は関連する機関や事業と連携をとる必要がある。
今後の方針	・機能訓練教室や個別相談の周知方法の見直しと関係機関等の協力を得て地域に潜在している新規参加者を開拓していく。 ・元気な高齢者を対象とした健康づくり講座を実施し、参加者が健康行動を継続できるように関係機関・事業と連携していく。 ・後期高齢者健診の受益者負担については、今後見直しを行い、生活機能評価については、地域支援事業実施要綱の改正に伴い、平成24年度以降に実施方法を変更する方向で検討していく。
今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止 ⇒ B ※ □事業完了 課長名 市民健康課長 大澤 一則

